



平成30年度

アート(文化芸術)を活用した地域振興

世界の多くの地域では、1980年代から文化芸術の創造性を生かした地域の活性化が行われています。近年、日本においても、オリンピック・パラリンピックの開催、訪日外国人の増加等により、地域の文化財や伝統文化・芸能、現代アート、メディア芸術等の地域資源を活用した文化芸術活動は、地域振興につながるものとして注目されています。この研修では、アート(文化芸術)を活用した地域振興が地域住民の結びつきを強化する効果があると捉え、各地域の資源や特性を生かしたアート施策を自治体職員が立案できるようになることを目標に実施します。

研修のポイント

- 行政がアートに取り組む意義について学ぶ
- 事例を通して、アート(文化芸術)がもたらす効果と課題について学ぶ
- アート(文化芸術)を活用した施策案の検討を行う

開催要領

日程 平成30年6月25日(月)～6月27日(水) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 市区町村で、文化振興、企画、地方創生、産業振興等の業務に携わる職員
市区町村で、文化施設の企画運営等に携わる職員
地域の文化・芸術を活用したまちづくりや産業振興を目指しているNPO職員 等

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年5月14日(月)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

6月

25日(月)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35

講義 行政と住民が協働してアートに取り組む意義と地域の変容

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科 教授 松本 茂章 氏

「住民がアートを用いることで地域にどのような変化が起こるのか、また変化を起こすためにはどのような取り組みが必要なのか」について文化行政の展開や自治体・住民間の連携の在り方、実際の取組事例などを交えてお話いただきます。

15:50～17:00

講義 新・文化庁が目指すもの～市町村の取組事例～

文化庁地域文化創生本部

平成29年4月に設置された文化庁地域文化創生本部では、2021年度中の京都への本格移転に向けた準備をすすめて、新たな政策ニーズに対応した事務・事業を実施しています。この講義では、「新・文化庁」の目指す姿や今後の展開について、市町村の取組事例を交えながらお話いただきます。

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～12:00

事例紹介 (70分×2団体)

コーディネーター 鳥取大学地域学部 教授 野田 邦弘 氏

芸術祭を通じた地域づくり

長野県大町市総務部まちづくり交流課

大町市では2017年7月に「北アルプス国際芸術祭」が開催されました。芸術祭を通して、地域にどのような変化がもたらされたのか。運営方法やボランティア育成の仕組みなども含めながら、芸術祭の成果や今後の展望についてお話いただきます。

文化施設を核とした地域振興

十和田市現代美術館

十和田市現代美術館は官庁街通りにおいて多様なアート作品を展開する市の「Arts Towada」計画の中核となる施設として2008年に開館しました。館の成り立ちや、開かれた施設として展開している独自の取組、これまでの取組の成果や今後の展望などについてお話いただきます。

13:00～15:35

講義 アートを活かした地域づくり

鳥取大学地域学部 教授 野田 邦弘 氏

事例紹介についてふりかえりを行い、国内外の事例紹介を踏まえながら、取組を効果的・持続的に行うためのポイントや自治体の抱える課題についてご講義いただきます。

15:50～17:00

演習 アートを活かした地域づくりの提案(グループ討議)

鳥取大学地域学部 教授 野田 邦弘 氏

アート(文化芸術)を活用した地域振興をテーマに班別討議を行います。

9:25～12:00

演習・総括講義 アートを活かした地域づくりの提案(グループ討議・発表・講評)

鳥取大学地域学部 教授 野田 邦弘 氏

前日に討議した内容について発表し、講評を頂きます。その後、3日間の研修で学んだことをふりかえり、どのようにそれぞれの自治体の施策につなげていくのか、そのためのポイント等についてご講義いただきます。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

平成30年

6月

27日(水)